

KODAIRA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWS

URL <http://www.kifa-tokyo.jp/> E-mail info@kifa-tokyo.jp



2012

No.68

CONTENTS

- P.1：小平国際学生宿舎寮生スタンプラリー
- P.2：KIFA写真館、こだいら市民まつりパレード
- P.3：インタビュー “シンガポール共和国”、国際こどもクラブ “ハロウィーンパーティー”
- P.4：国民健康保険制度説明会、市民スポーツまつり、他



グループにわかれての商店街ツアー



マップは
元寮生が
作りました！

小平国際学生宿舎寮生スタンプラリー

10月6日(土)～12月31日(月)

今年も小平国際学生宿舎に世界各国から交換留学生が入寮しました。宿舎の学生と地域の結びつきを深める為に、8つの商店会とKIFAなどで実行委員会を設け、商店街スタンプラリーが企画・実施されました。

これは寮生に商店会の46協力店が割引などの特典を提供し、スタンプがたまると特製のキーホルダーがもらえるというものです。

10月6日(土)にそのキックオフのイベントが催され、ボランティアが留学生を一橋学園駅周辺の商店街へ案内しました。スタンプラリーマップを念入りにチェックし店をカメラに納めるなど、日本に入学して間もない留学生は商店街を覚えるのに大変熱心でした。協力店で早速買い物をする留学生もい

ました。中国人留学生は中華料理店の前で立ち止まって、写真入りメニューを興味深く見入り、祖国の料理に出会えてホットしていました。自転車店では生活上必要となる中古品の値段を、店主にたずねる姿も見られました。

1時間半の商店街ツアーの後は学園西町地域センターで、小林正則市長より歓迎の挨拶があり、昼食交流会がにぎやかに行われました。

まぜ寿司に冷ややっこなど初めて口にする日本料理に、留学生達は美味しそうに舌つづみを打ちおかわりをしていました。お国が違う留学生同士そして商店会の方々と楽しそうに会話がはずみ、地域との交流の輪が広がっていました。

皆さん！早く日本の生活に慣れ学業に頑張ってください。

～KIFA 写真館～ スタンプラリー



実行委員長のあいさつでキックオフ

自転車店にて「安くていいの、あるかな？」



お豆腐とまぜ寿司で大満足

こだいら市民まつりパレード

10月21日(日)

この日は秋晴れの爽やかな一日で、まさにお祭り日和。そんな中、今回、KIFAは外国人参加者男女ともゆかたを着てパレードに参加することに。まず、仲町公民館で着付けをしてもらった参加者。女性はかわいくヘアアレンジもしてもらっていました。ゆかたを初めて着た人、二回三回と着たことがある人さまざまでしたが、その美しさにひかれ、ゆかたを着てパレードできることを嬉しいと思っている様子が見てとれました。中には、「自分の国に買って帰りたい」という人もいました。

そのあと、仲町公民館からあかしあ通りに出て仲町交差点付近で出番待ち。その間、皆さんワクワクしている様子で、みこしや太鼓などを珍しそうに眺め、写真を撮ったりしていました。

そして、ついにパレード出発！！参加者は、沿道にいる観

客にとびっきりの笑顔で手を振ったり、写真を撮り合いながら、本当に楽しそうな様子で歩いていました。

終わってから感想を尋ねると、「このようなパレードは初めてだったのでとても新鮮だった」、「みんなでパレードできておもしろかった」などと、満足そうな表情をしながら答えてくれました。パレードの後は、みこしをかついでいるのを見たり、出店を回って食べたり飲んだりしておのおのお祭りを楽しんでいました。

今回は、中国、韓国、ベトナム、タイ、カンボジア、イタリアの6か国の人々に加え、KIFAのボランティアも参加し、非常に多彩な顔ぶれでした。参加者はパレードを楽しんだだけでなく、お互いの交流も楽しんだようです。参加者の皆さんにとって、充実した一日であったことでしょう。



いざ、パレード出発！



ゆかた美人、バシャッ！

インタビュー “シンガポール共和国”

今回の外国人インタビューではガー・イー・チーさん(英語名マシューさん)が母国であるシンガポールについて紹介してくれました。現在、一橋大学の経済学部一年生です。

●シンガポールはどんな国?

東西49km南北25kmで、710平方キロメートルの小さい国です。東京都の1/3で淡路島とほぼ同じ大きさです。人口は530万人で、主に中華系、マレー系、インド系から成ります。赤道直下に位置しているため、一年中暑く平均最高気温は31度、平均最低気温が24度です。

●日本に興味をもったきっかけは?

両親が日本と関わる仕事をしており、子供の頃から、学校が休みの時に日本へ来て友達と遊んだりしました。シンガポールでは高校卒業後、国外の大学へ進学する学生が多く、私も高校卒業後日本へ留学することにしました。

●シンガポールの教育について教えてください。

シンガポールでは、小学校6年、中学校4年、高校2年です。義務教育は小学校までで、公立でも中学と高校に進学するにあたって受験が必要です。高校を卒業すると、女子はそのまま大学に進学できますが、男子は軍隊に入らなければなりません。シンガポールは人口が少ないため、男子全員に2年間の入隊が義務付けられています。

●英語が公用語として話されていますが?

私は中華系なので家では中

国語を話していますが、英語で話す家庭も多いです。学校で第二言語を学ぶのですが(注:シンガポールでは、小学校から英語とともに、中国語、マレー語など自分の母語を学ぶそうです)、卒業したらやめてしまう人が多いです。私はそれを残念に思います。自分自身の文化やアイデンティティをあらわす言葉が話すことが出来ないのは、もったいないことだと思います。

●シンガポールの食生活について教えてください。

チキンライスが代表的な料理です。鶏肉でとっただしでお米を炊きこんで鶏肉を添えたもので、唐辛子や醤油をつけながら食べます。200円位で安い。シンガポール人はよく外食をします。朝昼晩と外食するのもめずらしくありません。

●日本に来て驚いたことはありますか?

日本ではごみの分別をきちんとしていて驚きました。シンガポールでは全部まとめて捨てています。日本の環境に対する気配りには感動しています。

●日本でどこか行きましたか?

宮古島に行ったことがあります。ちょうどオフシーズンで人も少なく、リラックスできました。私は暑い国の出身なので北海道にもいつか行ってみたいです。

私たちの質問にひとつひとつ丁寧な日本語で答えてくれたマシューさん。大学生活では、授業の他に吹奏楽部でアルトサクソを演奏しているそうです。



国際こどもクラブ “ハロウィーンパーティー”

10月27日(土)

今年も楽しいハロウィーンパーティーの日がやってきました。ボランティアスタッフたちはいつもより早く集まり、ゲームやお菓子の準備をしたり、お化けカボチャの目鼻のくりぬきをしたり、子どもたちに楽しいひとときを過ごしてもらおうと一生懸命です。部屋の飾りつけも出来、ハロウィーンムードいっぱいになったところで、魔女の帽子やケープをまとった子どもたちが期待に胸をふくらませてやってきました。

まず始めはクラフトの時間です。折り紙で黒い帽子とオレンジ色のカボチャを折りました。みんな、鶴は折ったことがあってもカボチャを折るのは初めてのようです。出来上がったカボチャを台紙に貼り、まわりにキラキラの飾りをつけると、22人の子どもたちそれぞれの個性あふれるきれいな壁飾りが出来上がりました。

ここでちょっと一休み。ティータイムです。子どもたちは“Trick or treat!”と言ってお菓子をもらいます。ジュースを飲んで喉をうるおしたところで今度は体を動かすゲームの始まりです。

ふたつのチームに分かれて、ダーツゲームが始まりました。ダーツの的は紙に描かれた巨大お化けカボチャです。カボチャにはたくさんの風船がくっついていて、ダーツで風船を割り、勝ったチームがシールをもらいました。

最後に、目鼻をくりぬいてあるお化けカボチャに点灯し、このお化けランタンと一緒に記念撮影をしました。



おとなも楽しいハロウィーン



いよいよお化けランタンに点灯

国民健康保険制度説明会

10月20日(土)

学園西町地域センターで、外国人の方々を対象に「国民健康保険制度」説明会を開きました。情報提供コーナー主催で行われ、ボランティアが翻訳協力した英語・中国語・ハンガルのパンフレットをもとに、小平市役所保険年金課の職員に説明をしてもらいました。出席者は中国人やイラン人などの8名で、医療費に関わる質問などができました。

日本語を含めた4言語のパンフレットは、今後、市役所の



窓口やKIFAに配置する予定です。

これからも情報提供コーナーでは日本での生活に必要なことについて、順次、説明会を開いていきます。

市民スポーツまつり

10月7日(日)

市民総合体育館、中央公園グラウンドで行われた市民スポーツまつりにKIFAも参加しました。

当日は朝からあいにくの雨。プログラムは体育館で行われることになり、KIFAのPRコーナーも体育館ロビーに設置されました。この日の役割は協会のPRと外国人参加者のための通訳です。翻訳・通訳チームのボランティアが待機しました。

館内各所で弓道や剣道などの体験教室が開かれ、メイン会場となった第1体育室では、吹奏楽演奏などのアトラクションが行われました。コダレンジャーやスポーツ祭東京2013のキャラクター「ゆりーと」も来場し、にぎやかです。続々と人がやって来ますが、外国人の姿は…残念ながら通訳の依頼



はありませんでしたが、来場者にパンフレットをお渡しして協会の活動を紹介しました。

お天気の回復した午後には、グラウンドでリレー大会などが行われ多くの人でにぎわいました。皆さんも来年はこのおまつりで、「スポーツの秋」を楽しんではいかがでしょうか。

編集後記

あっという間に師走ですね。今年の始めには、はいはいをしていた息子も今では私が追いつけないほど走り回るようになりました。成長の速さを目の当たりにして時間の大切さを感じる一年となりました。KIFAでもまだボランティア1年生ですが、これから忙しい時間をぬって頑張るママぶりを発揮できたらと思います。(K・H)

これからの行事予定

- ◎こだいら国際交流芸術展 12月18日(火)～12月23日(日)
- ◎餅つき交流パーティー 1月12日(土)12:00～14:30
- ◎新年交流会 1月19日(土)17:30～19:00
- ◎市民駅伝大会参加 2月3日(日)8:00～12:00
- ◎世界の料理 2月
- ◎ひな祭りの集い 3月2日(土)13:00～15:00

翻訳・通訳チームができました

KIFAのボランティア登録者約330名中、翻訳や通訳で協力したいという登録者は、その内の25%を占める80数名にも上っていました。ところが、どのボランティアグループにも属していない人が大半でした。

最近では市役所からの翻訳依頼、震災時の避難場所での語学ボランティア、またイベント開催時の外国語協力などの必要性が出て来ています。

そこで7月28日に翻訳・通訳チーム結成説明会が行われ、英語、中国語、ハンガル及びやさしい日本語班が結成され、活動が始まりました。

10月6日開催の小平国際学生宿舎寮生スタンプラリーでは実行委員会に加わり、企画段階から積極的に参加しました。今後も12月開催の国際交流芸術展や来年2月の市民駅伝大会、3月のひな祭りのつどいなどで活動をしていきます。

ホームビジットプログラムを紹介します

外国人を自宅に招いて日本の家庭生活を体験してもらう、ホームビジットプログラムがあります。前号の外国人インタビューに登場したバングラデシュのカンさんが、日本滞在中のご両親とともに、賛助会員の町田さんのお宅を訪問しました。町田さんの感想です。「初めてのホームビジット受け入れてどうなるか少々不安でしたが、あたたかなファミリーで言葉が違って緊張することなく、和やかな時間を過ごせました。」お子さんたちにも良い思い出になったようです。

半日程度の訪問です。外国人を招いてみたい方、日本の家庭を訪問したい方はどうぞKIFAまでお気軽にお問合せください。



カンさん(後列左)とご両親

発行日 平成24年12月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ

〒187-0045
小平市学園西町2-12-22 学園西町地域センター3階
TEL. 042-342-4488 FAX. 042-347-3003